

高校普通課程における生徒の学習上の問題

高 森 充

高校教育の大衆化、高校への進学率の上昇に伴ってその教育編成をどうするかは、困難かつ重大な問題である。特に我が国の高校は普通課程の生徒在籍率が高い。

普通課程は必ずしも大学進学の前備的教育を目的とするものではないが、多くの学校の現実的な努力目標、生徒の意識、父兄の期待等は、大学進学との関係で高校普通課程を考えているといえよう。この傾向は特に大都市の公立高校普通科に著しいといえるだろう。

その場合に、生徒の進路希望の動向、生徒の感ずる学習上の問題、さらに大学入試制度をどう受けとめているか等について、実態調査を中心に検討したい。

※調査 昭和39年9月 名古屋市内高校5校の普通課程、2年の各1クラスを選んで実施、(戸町進、加藤十八、倉田有邦、高森充で学校訪問、調査依頼と同時に関係教員にインタビュー)。

調査結果の集計 別表校別比較、(5校をA～Eに区分しているが、世評の一流校がA、それにつぐものB、以下ランクが下がる。Dは新設校、Eは名大附属である)。

1. 進路希望について

先づ予想以上に進学希望の比率の高いことが注目される。即ち全体の90.5%が進学希望であり、中でも国立希望が約80%と圧倒的高率を示している。もっとも男女別にはかなり著しい差があり、特に男子は国立理科系(58.4%)が、女子は逆に国立文化系(48.0%)、次いで私立文科系(27.0%)が多くなっている。他方、就職・家事への希望は男子でわずかに2%、女子で6.3%に過ぎない。このことは、普通課程が好むと好まざるとに拘らず、大学進学問題に大きくつながっていることを示すものといえる。

学校別に見た進路希望状況の中で、特に注目される傾向は、所謂、一、二流校の男子に国立理科系の希望が多く、DやE校はむしろ文科系希望がやや多いことである。

2. 勉強時間について(通常の)

全体として、勉強時間はそう多いとも言えず、特に2時間未満が約20%となっている。ただ学校別ではD

校(38年度の新設校)の生徒は他に比べて勉強時間が多いようである。新設校ということで、教師も生徒も大いに張り切っている一つの現われとも見える。

3. 多く時間をかける科目

これは多く時間をかける科目を三つずつあげさせたものであるが、全体として英(34.4%)、数(33.1%)、物(12.4%)となつて、英・数について物理の勉強時間が多くなっている。

4. 授業で理解できず困っている科目(三つ)

数学の1位(28.8%)は別として、第2位に物理(20.7%)が上っている。高校の教科課程は大単位選択制から、共通必修制に移行してきており、理数科の内容も高度化している。それに対する学習困難(遅進生徒)もふえているともいえる。物理の場合、学校によって差があり、特にA校の場合は、最上位を示している。さらに一般の女子生徒は理数系に困難を感じているようだ。この点は女子の進路希望にも影響している。

5. 最も困っている科目について(その理由)

ここでは出て来た意見を次の三つの類型に整理した。

M. 教材の側に問題がある(内容が難かしすぎる、系統的でない等)……16.2%

T. 教師の側に問題(教え方がまずい、生徒の状態—レディネスを無視、進度が早すぎる等)……20.9%

P. 生徒の側に問題(予習・復習をしない、勉強時間が不足、頭が悪い、等)……56.6%

ここでは生徒自体の問題が大きい比率を占めているのは当然であるが、しかし、教師の側の問題も重要である。何故なら少なくとも授業はM(教材)を媒介として、教師Tの指導と生徒Pの反応が問題であり、そのコミュニケーションが基本になるからである。

高校では余り教える工夫——教授法の研究が進んでいないように思われるが、高校の進学率が高まり、高校の準義務教育化の傾向が認められ、しかも男女共学の下では、内容に即した教授法の研究は今後益々重要課題となるのではなからうか。その点で、次の結果は注目に値する。

6. 困っている教科についてどうしているか

ア) の教科の先生に質問するのは、わずか6.9%
 エ) の参考書を使って自力で何とかやっているが、
 30.8%あるが、
 カ) の全くお手上げで(どうしようもない)が14%に
 上っていることはきびしく受けとめるべきであら
 う。

7. 困っている科目について、どうしてほしいか

ここでは何よりも生徒は「わかり易く教えて」(59.6%)欲しいと願っている。もっともその中には、生徒の虫のよい注文がかくされているだろうし、4の「授業で困っている教科目について」も、生徒の感ずる困難度の高い科目程、その教科の性質や、先生のしほり方のきびしさ、学問のきびしさの反映であろうけれども、なおかつ、教科の内容が難かしければ、難かしい程、如何にして「わかり易く教える」かも又、教師の課題であり、生徒の学習への要求は正しくとり上げられるべきであろう。同時に教科内容及び教育方法の現代化が要請されると思う。

8. 進路又は能力別授業について

教師は一度に50人以上もの生徒に対して、とうてい個別指導まで手がとどかないが、しかも能力差もかない大きい場合、そこに進路又は能力別授業の問題が出てくるであろう。

調査結果によれば、やらない方がよいが48.2%をしめており、「全ての教科をやれ」が9.3%と低率である。「数・英についてやってほしい」が14.6%、「やってもやらなくてもよい」が28.9%となっている。

(もっともこの調査項目は設問自体に無理があり、進路別と能力別をいっしょに問うている点で余り適切でない) 一方、教科別では能力別授業に対する生徒の意見は、違った結果が認められ、本校英語科での調査では、2年生においては賛否相半ばするが、3年生では

賛成が非常に多くなっている。

本校では数学と英語について、高3での能力別編成を行っており、理科の物・化、社会科の世界史、地理についてもA類型・B類型の選択を認めているが、少なくとも能力差の大きい生徒をかかえている学校では受験対策以前の問題として、より本質的に個々の生徒の能力を可能な限り伸ばす方向で、能力別授業編成の問題は取り上げられるべきであろう。

9. 補習授業について

ここでは、やってほしいが46.3%、やらなくてもよいが49.6%となっている。その中で、E校(本校)を除いて、現に補習授業を行っているが、新設校のD校は、やつてほしいが多く、E校はやらなくてもよいが多くなっている。それにしても、全体として、補習授業への希望が予想以上に少ないことが注目される。進学のための補習よりも、むしろ学力遅進生徒のための補習こそ課題ではなからうか。

10. 現在の大学入試制度が高校生活に与えているえいきよう

ここでは、そのよい面と悪い面について、自由記述で書かせたものを、それぞれ三段階に分けてまとめた。よい面をとりあげたものは実数としては少なく、さらに無記が半分を占めているが、解答した中で、(+)前向き、批判的に評価しているもの、(-)は後向き、(○)は公式的な評価。

(2)の悪い面については、無記が少なく、かなり多くの批判的意見が寄せられているが、この場合も(○)の公式的批判が半数以上を示しており、具体的事例に即して、積極的、前向きの批判をしている例は少ない。むしろ、そのこと自体が現在の大学入試制度の重圧が高校生の意識に反映しているとも言えよう。

○別表

1. 進路希望

学校 性別 進路	A (54名)			B (55)			C (54)			D (47)			E (50)			合計 (260)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	%
A 就職・家事		1	1	1	1	2	1				1	1	2	1	3	4	4	8	3.3
B ₁ 国公立文科系	12	4	16	16	4	20	2			13	16	29	11	6	17	54	30	84	31.5
B ₂ 私立 "	2	3	5	1	1	2	1			4	3	7		10	10	8	17	25	10.4
B ₃ 国公立理科系	28	3	31	22		22	47			9	1	10	10	4	14	116	8	124	48.0
B ₄ 私立 "							4						1		1	5		5	1.8
未定・無記	1		1	7	2	9				1		1	3	2	5	12	4	16	

高校普通課程における生徒の学習上の問題

2. 勉強時間 (通常の)

0 以上				1	1	2	5					1		1	7	1	8	3.2	
1 ~	5	4	9	3		3	17			3	2	5	4	4	8	32	10	42	16.1
2 ~	21	3	24	19	4	23	21			4	8	12	12	11	13	77	26	103	38.1
3 ~	12	2	14	17	3	20	11			10	7	17	8	8	16	58	20	78	30.2
4 ~	4	2	6	7		7				8	3	11	1		1	20	5	25	9.6
5 ~	1		1							2	1	3				3	1	4	1.5
6 ~																			

3. 多く時間をかける科目 (上位三つ)

現 国	1		1	3		3	6			7	3	10	3	4	7	20	7	27
古典 古 文	3	1	4	7	2	9	11				3	3				14	7	7
漢 文																7	4	18
社 日	1		1										2	2	4	3	2	5
世 倫 社		1	1	3		3	18		6		6	4	8	12	25	9	34	
数	38	9	47	42	7	49	48		26	21	47	25	16	41	179	53	232	33.1
物 理	18	3	21	17	3	20	8		10	10	20	13	4	17	66	20	86	12.4
化 生	4	2	6	9	2	11	5		3		3		2	2	21	6	27	
英	38	11	49	45	9	54	50		25	21	46	20	22	42	178	63	241	34.4
そ の 他												2		2	2		2	

4. 授業で理解出来ず困っている科目 (三つ)

現 国	3	1	4	3		3	8			9	1	10				23	2	25
古文 古 文	13	3	16			12	14			3		3	9	5		33	8	41
漢 文	2	1	3	12		12				1		1				12	1	12
社 日													1	1		1		1
世 倫 社	3		3				7		5		4		1	1	2	5	5	16
数	25	6	31	22	5	27	32		12	15	27	13	20	33	104	46	150	24.8
物 理	27	10	37	19	6	25	15		7	17	24	13	12	25	81	45	126	20.7
化 生	10	4	14	5	2	7	19		9	11	20	15	17	32	58	34	92	14.9
英	15	3	18	22	1	23	35		4	1	5	14	7	21	90	12	102	16.6
そ の 他	3		3						1		1	1		1	5		5	

5. 最も困っている科目についてその理由

M. 教材の側	10	3	13	6	1	7	6			1	1	2	6	10	16	29	15	44	16.2
T. 教師	15	4	19	13	1	14	10			2	3	5	6	3	9	49	11	57	20.9
P. 生徒	19	7	26	18	5	23	45			24	19	43	10	8	18	116	39	155	56.2
その他	1	1	2	11	2	13				2		2				14	3	17	6.2

6. 困っている科目についてどうしているか (三つ)

ア. 先生に質問	5	4	9	10	1	11	5			4	4	8	2	5	7	26	14	40	6.9
イ. 塾・家庭教師				2		2	2			3	3	6		1	1	7	4	11	2.0
ウ. 友達にきく	26	6	32	33	6	39	33			11	15	26	17	17	34	120	44	164	28.3
エ. 参考書で	33	6	39	36	4	40	40			18	15	33	16	10	26	143	35	178	30.9
オ. 自習書で	11	1	12	20	3	23	20			12	7	19	7	10	17	70	21	91	15.7
カ. お手上げ	9	3	12	12	2	14	26			2	7	9	12	9	21	61	21	82	14.0
キ. その他	1	1	2	2		2	6			4	4	8				7	5	12	2.1

7. 困っている科目について、どうしてほしいか

ア. 教科書を易しく	3	1	4		1	1	8				1	1	4	2	9	15	5	20	7.8
イ. わかり易く教えて	28	6	34	27	3	30	30			14	15	29	14	15	29	113	39	152	59.6
ウ. 塾・家庭教師	1		1				4				3	3		3	3	5	6	11	4.3
エ. 自力	10	1	11	11	3	14	9			11	1	12	3	2	5	44	7	51	19.8
オ. その他	2	3	5	3		3	3			2	1	3	5	2	7	15	6	21	8.4

8. 進路又は能力別授業についての希望

ア. 全ての教科やれ	5	1	6	5	1	6				4	2	6	2	4	6	16	8	24	9.3
イ. 数・英をやれ	2	2	4	12	3	15				6	5	11	3	5	8	23	15	38	14.6
ウ. やってもやらなくてもよい	14	4	18	7	1	8	18			7		7	16	6	22	62	11	73	28.9
エ. やらない方がよい	23	4	27	22	3	25	36			9	14	23	6	8	14	96	29	125	48.2

9. 補習授業について

ア. やってほしい	17	7	24	30	1	31	25			18	14	32	7	3	10	97	25	122	46.3
イ. やらなくてもよい	23	4	27	14	6	20	30			8	7	15	19	20	39	94	37	131	49.6
無 記				3		3				1		1				4		4	

高校普通課程における生徒の学習上の問題

10. 現在の大学入試制度が高校生活に与えているえいきょう

(1) よい面	+	8	1	9	12	2	14	4		4	3	7	4	2	6	32	8	40	15.0
	○	14	5	19	11		11	26		9	9	18	8	9	17	68	23	91	34.1
	-	1		1	1		1				1	1	1	1	2	3	2	5	1.9
	無記	20	5	25	24	6	30	26		14	8	22	15	13	28	99	32	131	49.0
(2) 悪い面	+	11	3	14	14	3	17	8		8	4	12	5	3	8	46	13	59	24.0
	○	22	7	29	23	2	25	35		12	16	18	13	14	27	95	39	134	54.6
	-	8	1	9	2		2	3		1	1	2	2	1	3	13	3	16	6.5
	無記	2		2	8	3	11	9		6		6	7	4	11	32	7	39	14.9